

山政研 代表質問



萩原 善和 議員

●空港問題について

**Q** 周辺市町、本市も含み、第1種区域内の世帯数と助成事業についてお聞かせください。

**A** 市長 騒防法第1種区域内の戸数は、山武市430戸。芝山町920戸。横芝光町215戸です。当山武市では行われていない事業として、芝山町、横芝光町で、町単独で航空騒音地域の補助金として、家屋にかかわる固定資産税の助成措置が行われています。

**Q** 法に基づく地域が、各自治体により助成事業に市町間の格差があると思うが、市長の見解をお聞かせください。

**A** 市長 山武市の空港問題対策は、旧松尾町、旧蓮沼村の政策をそのまま引き継いでおり、固定資産税にかかる助成については、評価額で対応したと聞いていますが、これは調査をしなければ明確ではなく、格差があるとすれば格差を是正していくべきと考えています。

**Q** いつまでに助成措置をする、しないの回答が得られるのかお聞かせください。

**A** 市長 予算を伴いますので、必要な措置を講じて、できる限り早く21年度内には方向を出していきたいと考えています。

**Q** 1月23日に行われた4者協議会にて成田空港の発着容量の拡大への検討が着手されたことについて市長の見解をお聞かせください。

**A** 市長 今まで増便については、積極的な態度ではありませんでした。成田空港の将来を考えて、積極的な対応をする時期に来ているのではないかと考えています。

●教育問題について

**Q** 文科省のほうから小中学校への携帯の持ち込み禁止の指示、文書が来ていると思いますが、山武市の取り組みをお聞かせください。

**A** 教育長 山武市における所内の中学校3年生は82%となっており、全国平均が63%に対して大幅に多い。小学校6年生が、山武市が32%、全国が32%というような結果が出ております。文科省の通達については、市教委と校長会連名で保護者にこれを配付する予定になっております。

●学校施設の統廃合について

**Q** 小中学校の学区は、地域のコミュニティの育成の原点であり、この地域コミュニティの崩壊につながる学校の統廃合について、どう考えているのか。

**A** 教育長 教育委員会では、統廃合について検討してまいりましたが、小中学校の統廃合は行わないということにいたしました。

**Q** 市の財政面から考えますと、大変大きな問題だと思えますが、教育長から結論が出ている中、市長の見解はいかがですか。

**A** 市長 市の財政面から考えれば、統廃合ができるところは進めており、幼稚園については保育所との統廃合をしております。中学校の統廃合は歴史がございますが、小学校の統廃合は難しいという形で現在まで来ております。教育委員会の考え方を尊重して当面進めていきたいと考えています。

**Q** 教員のメンタルヘルス対策について、文科省による2007年度に心の病で休職した公立学校の教員は、過去最悪の4,995人とのことです。山武市の現況と対策をお聞かせください。

**A** 教育長 山武市の小中学校では平成19年度中に病気で休職した教職員は2名で、そのうち1名が精神性疾患によるものでした。本年度、現在のところ病気による休職者はおりません。対策については職員みずからの自己管理を徹底していただいております。また、相談窓口を設置するとともに、校内分掌の簡素化を図って、組織の見直しと効率化にも努めており、校長会議や教頭研修の折に、管理職に対して指導しております。

**Q** 教育問題は、教育委員会、教育委員、また学校との連携等々が必要であり、問題意識の共有が一番必要だと思えますが、教育長はどのようにお考えでしょうか。

**A** 教育長 毎月、定例の教育委員会が開かれる日には、必ず現場を訪問しており意見交換をしております。山武郡市内の中では、教育委員さんと学校との連携は、一番密接な関係と考えております。

**Q** 作田川の整備について

**A** 作田川の整備の進捗状況をお聞かせください。

**A** 市長 長年難航してまいりました用地交渉が、議会の御協力もいただき地権者の協力が得られ、用地買収率が99・5%までまいりました。工事関係で、



作田川改修工事（成東工区）

この事業は、県とのかかわりが大変大きく、当然予算配分の中でやるわけですが、1日も早くこの作田川の整備が終了するようお願いいたします。

山政研 関連質問



小野崎正喜 議員

●教育問題について

**Q** 現在、小中学校で不登校、長期欠席の生徒が多く、大